

福井市における海岸漂着物実態調査

実施日／令和5年5月27日(土)

調査対象海岸／鷹巣海水浴場 北部

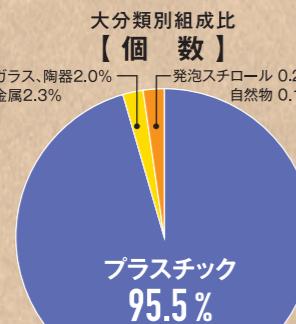
鷹巣海水浴場



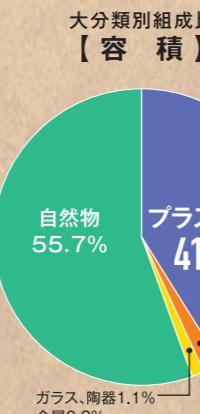
調査結果

海岸漂着物のうち、プラスチック類の占める割合が、個数では95.5%、容積では41.2%、重量では50%と全体として高いことが分かった。

大分類別組成比
【個 数】
ガラス、陶器2.0%
金属2.3%
発泡スチロール 0.2%
自然物 0.1%



大分類別組成比
【容 積】
自然物 55.7%
プラスチック 41.2%
ガラス、陶器 1.1%
金属 0.2%
発泡スチロール 1.9%



大分類別組成比
【重 量】
自然物 43.2%
プラスチック 50.0%
ガラス、陶器 6.0%
金属 0.2%
発泡スチロール 0.5%



プラスチック類 の内訳

ロープ、ひも(漁具) (365個)、が最も多く、続いてペットボトルのキャップ・ふた(339個)と続く。もっとも重量が重いのは、ロープ、ひも(漁具)で17.6キロ、次にブイ(漁具)で16.9キロとなった。この2項目だけで、プラスチック類の重量の約68%を占めており、高巣海水浴場におけるごみの傾向として、漁具のロープ、ひもが多く見られることが分かった。

海洋ごみを調べてみよう!

「ビーチコーミング」に挑戦しよう!

ビーチコーミングとは、海洋ごみを観察したり、収集したりするアクティビティのことです。海岸やビーチには、貝殻や流木、ガラス片、海外から流れ着くごみなど、毎日様々なものが漂着してきます。



ビーチ
コーミングの
服装

帽子

作業用手袋

リュック

タオル

運動靴

用意
するもの

- ◎作業用手袋 ◎運動靴(冬場は長靴)
- ◎袋や入れ物 ◎防寒着
- ◎夏場は、帽子や飲み物も!

【注意点】

- ・注射器、針、割れたガラスや、クラゲなどの毒をもつ生き物には、触らない!
- ・子どもだけで行かない!
- ・滑りやすい岩場や、かぶれや虫さされの恐れがある茂みなどへは近づかない!

未来の海のために 今できることを

私たちの海を守るために。
知っておきたい、海洋ごみ問題。



海を漂うプラスチックごみに絡まってしまったウミガメ

そもそも海洋ごみはどこからやってくるのでしょうか。
実は、海の近くだけではなく、遠い街で捨てられたごみが雨や風で川に流れ込み、
海に運ばれてくることもあります。

海洋ごみの7~8割は「陸」からのごみと言われています。



若狭和田ビーチ(高浜町)に打ちあがったごみ



いろいろある海洋ごみの種類

漂着ごみ

海岸に打ち上げられたごみ。

川を伝って海に流れ込んだごみや漂流ごみは、木や海藻とともに海岸に流れ着いて打ち上げられます。



漂流ごみ

水面や水中に浮遊しているごみ。

風や海流、潮流によって遠くまで運ばれることがあります。



海底ごみ

海底に沈んでしまったごみ。

缶やペットボトルだけではなく、大きな機械の部品なども沈んでいます。



みんなで考えよう、海洋ごみのこと。

福井・石川・富山、それぞれの海から見てみよう！

福井県沖は、暖流の「対馬海流」と寒流の「リマン海流」がぶつかる海域で、暖流と寒流に生息する両方の魚が集まる日本でも有数の漁場です。

しかし、この2つの海流は魚だけではなく、海洋ごみも運んできてしまいます。

【夏】 外国からの海洋ごみの漂着は少なく、近場からのものが多い
【冬】 大陸から吹く季節風の影響で、外国からの海洋ごみが増える

対馬海流

季節風

石川県の海岸線の長さ
約581km

対馬海流

ISHIKAWA

FUKUI

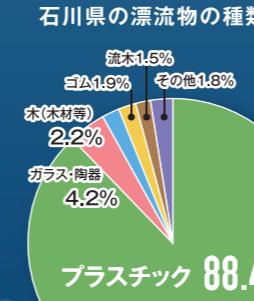
ごみは「川」を流れて「海」へ

川から海に流れ込むものが多い

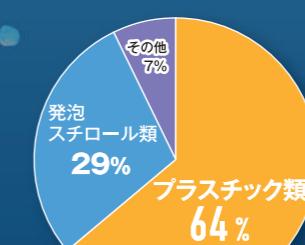
海洋ごみは、海の近くだけではなく遠い街で捨てられたごみが、雨や風で川に流れ込み、海に運ばれてくることが多いのです。九頭竜川の河口のサンセットビーチなどには街ごみが多いと言われています。



リマン海流



富山県の漂着物の種類



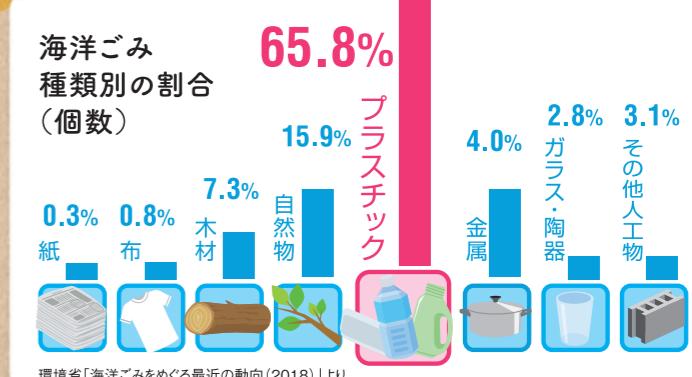
出典／富山県・(公財)環境省日本海環境協力センター
「海辺の漂着物調査報告書 2015年度」



海洋ごみってどんな影響があるの？

特に問題となっている 「プラスチックごみ」

海洋ごみにはさまざまな種類がありますが、特に問題とされているのが「プラスチックごみ」です。海洋ごみの半分以上を占めるプラスチックごみは、自然の力では完全に分解されにくいため、海の中を浮遊し続け、いつまでもごみのまま中には400年以上、海の中を漂うものもあると言われています。



「マイクロプラスチック」は人体にも悪影響！？



海に流れ出たプラスチックごみは時間がたつと、碎けて目に見えないほど細くなります。

5ミリ以下に小さくなったものを「マイクロプラスチック」と言い、海の生き物はえさと間違えたり、えさとともに食べてしまします。

こうしてプラスチックごみを食べたことで海の生き物が死んでしまった事例が、すでに世界中で報告されています。

また、具体的な影響こそまだ明らかにされていませんが、マイクロプラスチックを食べた魚を食べるの私たちであることから、その悪影響も懸念されています。

● 福井の海洋ごみは？他の県と比べてみよう。

● 海でよく見るごみは？

● どうすれば海洋ごみを減らせる？